

学校教育計画（平成29年度）

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
(1)	学 習 活 動	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に従い、本校の教育目標・教育方針に沿って、教科学習と特別活動の調和を図り、豊かな人間性、社会性および自ら学び自ら考える力を育成し、調和のとれた人間形成を目指すとともに、新学習指導要領を見込んだ指導も取り入れる。 ・生徒の能力、適性、進路の実態に応じた適切な指導を行い、基礎学力を充実させるとともに、自主的・自立的学習態度と学習習慣の育成を図る。
	重点1① 重点1②	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ①音楽コースでは、授業だけでなく、個人レッスンや部活動、学校行事などを通して多くの音楽活動に接する機会を設け、能力の向上を図る。 ②個人面談や学習実態調査を通じて生徒の実態把握に努め、<u>家庭学習を充実させる</u>など、個性に応じた適切な指導を行う。 ③<u>互見授業を実施し、アクティブラーニングを取り入れるなど授業方法の改善</u>を図る。基礎学力の定着を図りながら発展的な思考を引き出し、個性・能力の開発・伸長を図るための授業方法を工夫する。 ④生徒の実態にあわせて適切な課題を与え、学力の向上を図る。
(2)	学 校 生 活	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・心の触れ合いを基盤にして、人間としての望ましい在り方・生き方を目指し努力する態度、自ら考え正しく判断し主体的に行動できる能力、および互いの人格を尊重し励まし合いながら共に向上する意欲を育てる。
	・重点2① ・重点2②	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ①<u>基本的生活習慣を確立</u>させ、自立的で規則正しい生活を送らせる。 ②<u>社会規範や校則を遵守</u>させ、集団生活を送る上で<u>必要なマナー・エチケット</u>を身につけさせる。 ③街頭指導や広報活動などを通して交通安全意識の高揚を図る。 ④生徒の心情や意識・環境などの実態を多面的に把握し、一人ひとりの個性を伸ばすとともに、健全な社会人としての自立を支援する。 ⑤生徒指導に関してできるだけ多く意見交換の機会を持ち、職員間の共通理解を図る。
(3)	進 路 支 援	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らの能力の開発と適性の発見に努め、将来の生き方や人生観の育成のため、主体的に進路を選択し、学習することができるように指導、援助する。
	・重点3① ・重点3②	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ①1学年では、入学直後に生徒の実態を把握し、本校生としての学習への円滑な移行を図り、主体的な学習習慣を確立させる。第2学年では、学力の伸長と進路研究に努めさせ、早期の進路目標の設定を促す。第3学年では、実力の養成と<u>適切な進路選択を支援する</u>。以上、<u>3年間を通し一貫した進路指導の下に、志望の実現を目指す</u>。 ②<u>将来の進路を考えるための講演・講義等や「総合的な学習の時間」での職業・進路研究、進路ガイダンス、大学見学、オープンキャンパスへの参加や面接等を通して、進路意識の高揚を図る</u>。 ③面接指導を通して、生徒との心の交流を図り、進路目標設定の支援と意識の向上に努める。 ④入試問題や入試動向を研究・分析し、生徒の進路実現を支援する。 ⑤保護者会やPTA進路講演会などにより、進路について保護者に情報提供をし、家庭との連携の一助とする。 ⑥進路意識の高揚を図るため、学年別進路通信を発行する。

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
(4)	特 別 活 動 ・ 重点 4 ① ・ 重点 4 ②	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事・部活動を通して、自ら考え、協力して実践する力を高めるとともに、豊かな人間関係を築く力を育てる。 ・ 生徒の読書意欲を高め、豊かな知性と感性を育む。 ・ 学習資料センターとしての図書館機能の充実と利用の促進を図る。
		計 画	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>生徒会活動への意識を高め、生徒会が関わる学校行事を積極的、計画的に企画・運営する力を育てる。</u> ② <u>学校行事への積極的な参加により、生徒の学校行事に対する充実感を高める。</u> ③ ホームルーム活動を通して、豊かな人間関係を築く力を培う。そのために、討論の力を高める活動に重点を置く。 ④ 部活動を通して、自主性や協調性を養う。 ⑤ ボランティア活動の推進に努める。 ⑥ 図書館便りを毎月発行するとともに、「読書の時間」や「HR読書会」及び「図書館フェア」を実施することにより<u>読書意欲を喚起する。</u>「小論文対策図書」も充実させ、進路実現の一助とする。 ⑦ 教科・学年・進路等関係方面と連携し、蔵書資料を一層充実させるとともに、<u>図書館利用のオリエンテーションを開催し、インターネット等の利便性も図っていく。</u>
(5)	・ 重点 5 ① ・ 重点 5 ②	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校教育活動、PTA活動のさまざまな機会を利用して、開かれた学校づくりに努める。
		計 画	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>PTA総会、役員会、SPTA懇談会等への出席率を高め、学校行事開催時の来校者が増加するよう努める</u>ことによって、保護者や卒業生、地域住民との連携を深める。 ② <u>ホームページを充実させ、広報活動を強化する。</u>特に、本校入学をめざす中学生への紹介資料や、音楽関係行事について、地域や県民への広報に努める。
(6)	そ の 他 ・ 重点 6 ① ・ 重点 6 ②	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校教育活動、PTA活動のさまざまな機会を利用して、開かれた学校づくりに努める。
		計 画	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>PTA総会、役員会、SPTA懇談会等への出席率を高め、学校行事開催時の来校者が増加するよう努める</u>ことによって、保護者や卒業生、地域住民との連携を深める。 ② <u>ホームページを充実させ、広報活動を強化する。</u>特に、本校入学をめざす中学生への紹介資料や、音楽関係行事について、地域や県民への広報に努める。